

一般社団法人 日本義肢装具士協会

平成 26 年度定期総会 議事録

1. 日 時 平成 26 年 7 月 5 日(土) 12:40 ~ 13:40
2. 場 所 金沢歌劇座
金沢市下本多町 6 番丁 27 番地
3. 議 案
 - 1) 報告事項
 - (1) 平成 25 年度会勢報告
 - (2) 第 24 回学術大会大会長について
 - 2) 審議事項
 - 第 1 号議案 平成 25 年度事業報告の承認の件
 - 第 2 号議案 平成 25 年度決算報告および監査報告の承認の件
 - 第 3 号議案 平成 26 年度主な事業計画の承認の件
 - 第 4 号議案 平成 26 年度収支予算の承認の件
4. 議事経過
 - 1) 開 会
定刻になり司会が定期総会の開会を宣言した。
 - 2) 大会長への感謝状贈呈
坂井会長より、金沢大会開催に尽力された丸山照雄第 21 回学術大会長に感謝状の贈呈が行われた。
 - 3) 議長選出
定款第 19 条に従い議長の選任について、司会より、丸山照雄氏を指名したところ、異議なく承認された。
 - 4) 議事録署名人選出
定款第 24 条に従い議事録署名人 1 名の選出について、議長より、中村喜彦理事を議事録署名人として指名したところ、異議なく承認された。
 - 5) 総会成立の確認
議長より、定款第 21 条にて正会員総数の 3 分の 1 以上の出席数が条件と規定されていること、7 月 11 日の総会告示時の正会員総数が 1,888 名であることから、本総会は、630 名以上の出席が条件であること、本日の出席者数 65、委任状数 579、書面表決数 103 を合わせて 747 であり、本総会は成立しているとの報告がなされた。

6) 会長挨拶

はじめに、過去1年に逝去された物故会員へ黙とうが捧げられた。次に坂井会長より、平成25年度に策定した今期の4つの活動骨子である“自己研鑽の場の充実”、“職能団体としての基盤強化”、“公益性の推進”および“事務体制の強化”に関する主な項目の進捗状況について報告がなされた。

7) 報告事項

大塚常任理事より、平成25年度の会勢および第24回学術大会長の報告がなされた。

8) 審議事項

(1) 第1号議案 平成25年度事業報告の承認の件

高橋副会長より、本部および支部の各事業、各委員長ならび担当理事により、委員会活動の報告がなされた。

議長より、質疑を求めたところ出席者より以下の質問があった。

① 協会向上委員会の活動である組織率向上のための対策について

出井協会向上委員長：

退会者の退会理由について調査したところ、年会費滞納によるものが少なくないことが判明した。支払いやすい年会費の徴収方法を再考するため他団体の会費徴収法を調査し、本会に適した方法を検討している。

坂井会長：

義肢装具士資格取得者の総数は明らかにされているが、これには離職者等も含まれているので実際に義肢装具士として活動している人数を把握することが組織率の算出にとって重要と考えている。北日本支部では地域の義肢装具士数の調査を行った。協会向上委員会の活動である義肢装具士白書の作成では全国規模調査を計画している。また生涯学習委員会の活動として実施している卒前の新人セミナーを拡大し、卒直後の新人セミナーを各地域で実施することで、会員として本会に参加することの意義を植え付けることを検討している。

質疑後、第1号議案は、提案通り賛成多数で承認された。

(2) 第2号議案 平成25年度決算報告および監査報告の承認の件

大塚常任理事より、平成25年度決算報告がなされた。その後、佐々木監事により、会計監査報告がなされた。

議長より、質疑を求めたところ出席者より以下の質問があった。

① 事業費支出の会議費で予算額と決算額に大きな差があることについて

大塚常任理事：

一般社団法人化に伴い、顧問税理士の指導により、本部会計に加え、学術大会会計と支部会計を合算する新たな手法に移行することとなり、収支計算書の決算額はこれら3者の合計を記した。一方、予算は、従来の手法で作成されたため本部会計の予算額のみを記した。これが原因で差異が大きくなった。収支計算書内訳表には3者の内訳を示している。

質疑後、第 2 号議案は提案通り賛成多数で承認された。

(3) 第 3 号議案 平成 26 年度主な事業計画の承認の件

石原副会長より、平成 26 年度の本部および支部の主な事業計画、各委員長ならびに担当理事により、各委員会の事業計画について説明がなされた。

議長より、質疑を求めたが、特になかった。

第 3 号議案は提案通り賛成多数で承認された。

(4) 第 4 号議案 平成 26 年度収支予算の承認の件

大塚常任理事より、平成 26 年収支予算案について説明がなされた。

議長より、質疑を求めたが、特になかった。

第 4 号議案は提案通り賛成多数で承認された。

9) 閉 会

議長は、議事進行協力への謝意を表明するとともに閉会を宣言した。

5. 次回以降の学術大会

今後開催予定の各大会の大会長より、準備状況等の報告がなされた。

① 第 22 回日本義肢装具士協会学術大会

平成 27 年 6 月 27 日(土)・28 日(日) 大田区産業プラザ

大会長 高橋 功次 (有限会社 タカハシ補装具サービス)

② 第 23 回日本義肢装具士協会学術大会

平成 28 年 7 月 16 日(土)・17 日(日) 神戸国際会議場

大会長 小西 克浩 (株式会社 澤村義肢製作所)

③ 第 24 回日本義肢装具士協会学術大会

担当：南日本支部

以上、この議事録を作成し、会長、議長および議事録署名人が記名押印する。

平成 26 年 7 月 5 日

一般社団法人日本義肢装具士協会

平成 26 年度定期総会

会 長 坂 井 一 浩

議 長 丸 山 照 雄

議事録署名人 中 村 喜 彦